

教科	地歴	科目	地理A	単位数	2	学年	1	科	機械科
----	----	----	-----	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

現代世界の地理的な諸課題を、地域性を踏まえて考察し、地理的認識を養う。
 地理的な見方や考え方を養い、国際社会に主体的に生きることができるようにする。
 地図をきちんと読めるようにする。

2、使用教科書・副教材

二宮書店 新編 地理A 「ひろがる世界とつながる地域」
 二宮書店 基本地図帳

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一 学 期	4月	ガイダンス 学習方法、「地理」で何を学ぶか 身近な地域から日本全体に学習範囲を広げて、学習する。 長野県→日本 (県名、地名、地形など)	定期考查ま でに学んだ内容	20
	5月	日本の位置、地球儀と地図		
	6月	人々を取りまく地形		
二 学 期	7月	人々を取りまく気候	定期考查ま でに学んだ内容	30
	8月	世界各地の生活・文化 アジアの生活と文化		
	9月	アフリカの生活と文化		
	10月	ヨーロッパの生活と文化		
	11月	アメリカの生活と文化		
三 学 期	12月	地球的課題の考察 環境問題	定期考查ま でに学んだ内容	20
	1月	資源エネルギー問題・人口食糧問題		
	2月	居住・都市問題、生活圏の諸課題と地域調査		
	3月			

計70

4、評価の方法

主体的な言語活動	<ul style="list-style-type: none"> 生徒への発問解答など対話形式を大切にして授業を進める 授業内容の説明や発問はできるだけ分かりやすく的確な言葉で行い、生徒にも同様の視点に立って解答をするように指導する 自らの経験(旅行など)や情報(インターネット、テレビなど)から各地域の特色や魅力を説明できるように導き出す。
関心・意欲・態度	出席、授業態度、反応等、様々な角度から積極性を観る
思考・判断・表現	発問に対する解答やそれに至る思考過程および反応を観る
資料活用の技能	地図帳の持つ特性を理解して機能的に活用しているか観る
知識・理解	履修事項の嵩上げがなされているか確認する(考查、発問に対する解答、課題提出等で判断)

5、学習にあたっての注意とアドバイス

授業導入部分で新聞を使い、時事問題から授業に入り、当該時限の学習内容に結び付けていく。特に地図に親しむ。基礎的、基本的な内容から入っていくので、1時間1時間を大切にしてプリントをしっかりと完成すること。視覚的な資料(写真、掛け地図、地球儀)など活用する。

教科	地歴	科目	世界史A	単位数	2	学年	2	科	機械科
----	----	----	------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

世界の諸地域には様々な文化や生活の営みがあることを理解し、それがどのような歴史の歩みの中から形成されてきたか、考えてみる。人物に焦点を当てて、授業を展開する。また、日本と関係のある事柄を積極的に取り上げる。内容の重点化をし、各国の細部に深い入りすることはせず、一体化する世界を大きく捉える。

2、使用教科書・副教材

新版 世界史A 実教出版

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一 学 期	4月	ガイダンス 「世界史」で何を学ぶか 諸地域世界と交流圏	定期考查までに学んだ内容	20
	5月	独自の文化を形成してきた諸地域の多様な文化を、それを生み出した風土とともに学び、世界の多様な文化に触れる。		
	6月	人類の誕生と古代文明		
	7月	東アジアと古代中国 南アジアの世界 イスラムの世界 ヨーロッパの世界 アフリカ・アメリカの世界		
二 学 期	8月	一体化する世界 諸地域の交流が本格的になり、諸地域が結びつき、真の意味での世界史を学ぶ一体化に向かう世界	定期考查までに学んだ内容	40
	9月	ヨーロッパの世界進出		
	10月	ヨーロッパ・アメリカの諸革命		
	11月	帝国主義と世界		
三 学 期	12月	現代の世界と日本 現代の複雑な世界を、歴史的過程を通して理解し、将来の世界を展望する。	定期考查までに学んだ内容	20
	1月	急変する人類社会		
	2月	2つの世界戦争と平和		
	3月	冷戦下の世界 現代の課題		

計70

4、評価の方法

主体的な言語活動	<ul style="list-style-type: none"> 生徒への発問解答など対話形式を大切にして授業を進める 授業内容の説明や発問はできるだけ分かりやすく的確な言葉で行い、生徒にも同様の視点に立って解答をするように指導する 各国、各時代の代表的な人物を中心に学び、生き方や考え方を理解し、議論する
関心・意欲・態度	出席、授業態度、反応等、様々な角度から積極性を観る
思考・判断・表現	発問に対する解答やそれに至る思考過程および反応を観る
資料活用の技能	新聞を活用し、歴史に関連する記事から現在に影響していることを理解し、機能的に活用しているか観る
知識・理解	履修事項の嵩上げがなされているか確認する(考查、発問に対する解答、課題提出等で判断)

5、学習にあたっての注意とアドバイス

授業導入部分で新聞を取り扱い、歴史に関する事項を積極的に取り入れる。人物を中心とした歴史の学習に重きを置き、その人物の素顔に少しでも触れる学習を展開する。世界史を学ぶことで、視野を広げたい。また、日本の歴史に結びつく事項を取り上げ、世界の中の日本を意識させたい。基本的な事項を学習しますので、毎時間、しっかりプリントを完成すること。

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2	学年	3	科	機械科
----	----	----	------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

現代社会における政治・経済分野を中心に身近な事柄から結び付けて、原理や制度を学ぶ
さまざまな現代の諸課題を主体的に考察する。

2、使用教科書・副教材

高等学校 新現代社会 第一学習社

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一学期	4月	ガイダンス 学習方法、「現代社会」で何を学ぶか	定期考查までに学んだ内容	20
	5月	・現代の民主政治と政治参加の意義		
	6月	・日本国憲法の三大原則		
二学期	7月	・現代日本の政治(地方自治、選挙制度、世論)	定期考查までに学んだ内容	40
	8月	・国際政治の動向と日本の役割		
	9月	・現代の経済社会と私たちの生活		
	10月	・日本経済のあゆみと現状と展望		
	11月	・雇用と労働、社会保障		
三学期	12月	・国際経済の動向と日本の役割	定期考查までに学んだ内容	20
	1月	・環境と私たちの生活		
	2月	・現代社会と人間としてのあり方と生き方		
	3月			

計70

4、評価の方法

主体的な言語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒への発問解答など対話形式を大切にして授業を進める ・授業内容の説明や発問はできるだけ分かりやすく的確な言葉で行い、生徒にも同様の視点に立って解答をするように指導する ・時事問題を扱いニュース・新聞記事に関する発問をし社会的関心を高めるように努める
関心・意欲・態度	出席、プリント記入、発言等、様々な角度から積極性を観る
思考・判断・表現	発問に対する解答やそれに至る思考過程および反応を観る
資料活用・技能	新聞記事を扱い、現在の社会の動きを説明し、学習に取り組みせる
知識・理解	学習内容を理解しているか確認する(考查、発問に対する解答、課題提出等で判断)

5、学習にあたっての注意とアドバイス

新聞を活用し、時事問題をその都度のテーマに合わせて関連付けていく。また、基礎的、基本的な内容から入っていく。有権者、主権者としての自覚を意識させる。1時間1時間を大切にしてプリントをしっかりと書くようにすること。

教科	地理歴史	科目	日本史A	単位数	2	学年	4	科	機械科
----	------	----	------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

国際関係を重視した日本近現代史を学び、現代事情の本質と諸課題を考える。特に4年生は全員有権者となるので主権者としてこれからの日本のあり方について主体的に思考し、行動していく資質を養う。

2、使用教科書・副教材

高等学校改訂版日本史A「人・くらし・未来」(第一学習社)、日本史のアーカイブ(とうほう)

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一学期	4月	開国と幕末社会の変動	中間考查	4
	5月	明治維新と新政府の成立		5
	6月	自由民権・国会開設運動、日清戦争	期末考查	5
	7月	条約改正、明治の産業・社会、日露戦争		4
二学期	8月	朝鮮の植民地化・満州進出、	中間考查	5
	9月	大正デモクラシー・社会運動		8
	10月	普選・護憲運動、治安維持法、恐慌と大陸進出、日中戦争		9
	11月	戦時体制、第2次世界大戦	期末考查	10
三学期	12月	太平洋戦争	学年末考查	11
	1月	戦後の占領体制から安保条約改定		9
	2月			
	3月			

70単位

4、評価の方法

主体的な言語活動	<ul style="list-style-type: none"> 生徒への発問解答など対話形式を大切にして授業を進める 授業内容の説明や発問はできるだけ分かりやすく的確な言葉で行い、生徒にも同様の視点に立って解答をするように指導する 難解な表現・歴史的事象は平易な説明を心掛け、生徒が積極的に発言できるようにする 歴史的転換点において自らの考えや意見を発表できる機会を作り、ディスカッションなどで議論を深める。
関心・意欲・態度	出席、授業態度、反応、発言等、様々な角度から積極性・意欲を観る
思考・判断・表現	発問に対する解答やそれに至る思考過程および反応を観る
新聞活用の技能	歴史全般につながる新聞記事を示し、関心を高めたり各自の意見を確認する。
知識・理解	履修事項の嵩上げがなされているか確認する(考查、発問に対する解答、小テスト等で判断)

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- 口頭説明等、ポイントを各自工夫してプリントをまとめていく。
- 欠課遅刻をなくし授業を大事にする
- 授業中に疑問や興味関心がわき起こった時、積極的な発言を求める
- 4年生は有権者、主権者としての自覚を持ち、過去に学び現在の分析や未来のあり方を積極的に学ぶ姿勢を持つようにする。